主な総括質疑

自民党　並木　一元　委員
・東京女子医大東医療センター移転計画への区の決意について
・全ての中学校に設置する防災部の具体的な内容について
・不燃化特区事業のさらなる推進とタブノキの植栽について

自民党　菅谷　元昭　委員
・外国人旅行者向け宿泊施設の区内への誘致について
・企業のイノベーションによる高齢者の見守りへの活用について
・屋外の猫の適正管理等に関する活動への支援について

公明党　中村　尚郎　委員
・医療・介護への「暮らしの保健室」機能の取り込みについて
・待機児童の解消策と区としての保育士の確保策について
・公会計制度改革の実行による経費削減等の目標について

共産党　小島　和男　委員
・国の介護報酬削減による区内施設への影響と対策について
・日暮里地域への小規模特別養護老人ホームの設置について
・日暮里地域における保育園待機児童解消への緊急対策について

民主・市民　瀬野　喜代　委員
・木造密集地域に住む高齢者の住宅に対する耐震化について
・介護予防につながる子どもの介護施設への訪問について

元気クラブ　斉藤　裕子　委員
・住民の意思を尊重して、西日暮里再開発計画の縮小を

日本創新党　小坂　英二　委員
・正副議長の1年ごとの辞任と異常な高額報酬について

正論の会　浅川　喜文　委員
・女子医大東医療センターの移転計画への区の対応は不十分だ

改革の会　藤澤　志光　委員
・公衆トイレ、公園トイレ等の洋式化を推進すべきことについて

総括質疑についてはDVDを広報課及び各区立図書館で貸し出しますのでご利用ください。

平成27年 区長の施政方針説明（一部抜粋・要旨）

西川区長から、2月13日の2月会議初日の本会議において、施政方針説明が行われました。

平成26年度定例会・2月会議の開会に当たり、私の区政運営に関する所信の一端を申し上げます。

区長就任以来、取り組んできた区民の幸福実感向上とは、不幸な方を一人でも減らし、幸せに満ち溢れた地域社会を作り上げていくことです。親から子への貧困の連鎖を断ち切るためには、全ての子どもたちが十分な教育を受けられることが極めて重要であります。また、雇用拡大を図り、安定して生活を維持できるように、区独自に就労支援課を設置し、日暮里駅前に「マザーズハローワーク」と「わかものハローワーク」が設置され、確実に成果を上げています。

平成27年度予算案は、区民の安全安心や未来への活力を高めるための「幸福増進予算」として編成しました。主な施策について、分野ごとに説明します。

はじめに、女性が輝く社会づくりを強力に進めます。就労支援では、専門ハローワークとの連携を促進し、子育て中の女性の就職準備をサポートする相談窓口を設置します。子育て環境の整備では、私立認可保育園2園を開設するとともに、グループ型家庭的保育事業を開始するなど、増大する保育需要に対応します。新たに3校でにこにこすくーるを開設するほか、5校で放課後子ども総合プランを試行します。子どもの貧困対策では、子どもの居場所づくりを進める団体を支援することにより、ひとり親家庭等の子どもの自立を促進します。また、自然体験事業を充実させるとともに、いわゆる「いい母プレッシャー」を抱える女性を支援します。

安全安心の街づくりでは、永久水利施設を南千住六丁目のスーパー堤防と日暮里公園に整備します。さらに区立中学校全校に（仮称）防災部を設置するとともに、地域で防災運動会を開催し、防災活動の新たな担い手を育成します。また、危険老朽空き家の実態調査を行うとともに、解体費用を全額助成します。また、特殊詐欺等の根絶に向け、地域を挙げた対策を展開します。

生き生きと暮らせる街づくりとして、健康づくりでは、ジェネリック医薬品の利用促進による医療費の適正化や、国民健康保険の医療費分析による糖尿病重症化の防止を進めます。高齢者福祉では、地域包括支援センターを増設し、高齢者見守りネットワークの構築を推進します。障害者福祉では、グループホーム等を整備する事業者に対し、開設経費の一部を補助するとともに、親なき後にも安心して生活を送れるように個人別ライフプラン作成をお手伝いします。

産業振興では、相談体制を強化するなど、円滑な事業の継承や終了に対する支援を図ります。観光振興では、「荒川区俳句のまち宣言」を行うなど俳句文化の裾野を広げます。また、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、小中学生の国際理解、障がい者理解等を深めるとともに、誰もが気軽にスポーツに親しめる環境を整備します。これらの事業の実施に当たり、効率的な区政運営を行うため、公会計制度改革の一環として、日々仕訳による複式簿記・発生主義会計を行える「東京都方式」を導入します。

以上、平成27年度予算は、区民の幸福実感のより一層の向上を第一に、限られた財源の中で中長期的な視点で優先順位を熟考したものです。区は、区民に最も身近な自治体として、区民に頼られる存在にならなければいけないと考えます。そのためには、区民の想いをかなえたいという強い気持ちを念頭に、目の前の壁を突き破る策を練り、実際に行動に移すことが必要です。

私が区職員の先頭に立ち、幸せ溢れる荒川区を実現していく決意ですので、区議会並びに区民の皆様のご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

平成27年度予算をこう評価する

3月13日の本会議において、平成27年度一般会計予算について各会派から討論が行われました。その要旨をお知らせします。

賛成

重要課題や区民生活に的確に対応した施策に財源を重点的かつ効果的に配分する一方、事務事業全般における再点検・見直しを図っている予算を評価

自民党

平成27年度一般会計予算について、賛成の立場で討論する。

自由民主党荒川区議会議員団は、本予算の編成に当たり、区民生活の向上、安心・安全に暮らせる荒川区を目指し、6つの重点項目を始めとした、約300の事項を積極的に推進していくよう要望した。この要望を踏まえ、区は、直面する重要課題や区民生活に的確に対応した施策に財源を重点的かつ効果的に配分する一方、内部努力のさらなる徹底や事務事業全般にわたる再点検・見直しを図っている。この結果、予算規模は912億6千万円で、前年度比2・1％減となっているが、我が党が要望した重点施策等を推進するための新規事業やレベルアップ事業が積極的に組み入れられ、区長及び区当局の努力を高く評価する。

また、予算特別委員会における質疑を通じて各分野の施策や事務事業に関して、具体的に確認した。

各項目を順不同に挙げると、マンションの防災対策の支援、複合施設の有効活用と利用促進、サンパール荒川改修における十分な安全対策、専門家による区内の彫刻の検証、窓口トラブルへの適切な対応、町会掲示板への適切な支援、生命を守るホイッスルを一斉に吹く機会の確保、区民の要望を踏まえた有効な防犯カメラの設置、グリーンパール那須の利用促進、シェアハウス対策等の強化、介護人材不足への適切な対応、高齢者プランの分かりやすい周知、保育所特区の活用、女性のライフステージに応じた切れ目ない支援、障がい者が必要なときに支援できる制度づくり、東京女子医大東医療センター移転に係る都への働きかけ、東京オリンピックに向けた外国人観光客誘致、商店街へのゲストハウス設置による賑わい創出、プレミアム付きお買い物券の全商店街参加、危険老朽空き家対策の効果的な展開、球技のできる公園の拡大、子どもの悩みを聞く相談体制の充実、他のカメラと連携した通学路の防犯カメラの有効活用、読書のまちづくりの推進等々である。

区においては、こうした我が党各議員からの意見や提案を真摯に受け止め、是非とも区政に反映させるよう求める。新年度の予算執行に当たっては、区民の幸福増進に、一層努力することを強く要望し、また、私ども自由民主党荒川区議会議員団も、執行機関との良き緊張関係を保ちつつ、今後とも力強く西川区政を支えていくことを表明して、賛成の討論とする。